



土砂災害防止 全国の集い in 富山

令和5年度
第41回

西ノ谷堰堤(明治・大正期の県営時代)

治水分県・富山で考える土砂災害対策 ～立山の砂防 120年とこれから～

基調講演

気候変動による豪雨災害への影響

講演者：中北 英一(京都大学防災研究所 所長)

パネルディスカッション

治水分県・富山で考える土砂災害対策

～立山の砂防 120年とこれから～

コーディネーター：松本 浩司(NHK解説主幹)

主催 国土交通省、富山県

CPD-CPDS認定講習

【後援】内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、(一社)日本新聞協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、(一財)砂防フロンティア整備推進機構、全国地すべりかけ崩れ対策協議会、(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会、(NPO)土砂災害防止広報センター、(一社)富山県建設業協会、(一社)斜面防災対策技術協会富山支部、(一社)富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、富山県治水砂防協会、全国治水砂防協会立山支部、富山県市長会、富山県町村会、(NPO)富山県砂防ボランティア協会、立山・神通砂防スペシャルエンジニア、立山砂防女性サロンの会、(公財)富山県消防協会、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、中日新聞北陸本社、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、FMとやま、ケーブルテレビ富山

【治水分県 富山とは】明治9年(1876年)、越中国(現在の富山県)は、加賀国・能登国(現在の石川県)などと合併しましたが、治水に力を入れた越中と、道路建設に力を入れた加賀・能登で分県運動が起こり、明治16年(1883年)に現在の「富山県」が誕生しました。富山県は、洪水・土砂災害対策を推進するために生まれた県とも言えるのです。

令和5年

一般参加入場無料

日時

6月1日(木) 13:00~17:05

会場

富山国際会議場メインホール

問合せ先

第41回土砂災害防止「全国の集い」運営委員会事務局(富山県砂防課)
(電話) 076-444-3341

ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、マスクの着用や手指消毒などにご協力ください。厳守いただけない方および症状の疑いのある方は、会場への入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、開催の中止またはプログラムの変更等を行う可能性がありますので、予めご了承ください。

6月1日 木 土砂災害防止「全国の集い」

連携行事
(午前中)

令和5年度 富山県砂防工事施工技術等連絡会
令和5年度 砂防ボランティア「全国のつどい」

富山国際会議場 特別会議室
富山国際会議場 多目的会議室

- 12:00 ■開場(ドアオープン) / 富山国際会議場 メインホール
■ポスター展示『全国からの土砂災害対策 事例報告』
- 13:00 ■開会式典
1) 挨拶: 国土交通大臣、富山県知事、来賓(国会議員等)
2) 土砂災害防止功労者表彰式
- 14:10 ■基調講演
気候変動による豪雨災害への影響
講演者: 中北 英一(京都大学防災研究所 所長)
- 15:10 (休憩20分)
- 15:30 ■パネルディスカッション
**治水分県・富山で考える土砂災害対策
～立山の砂防 120年とこれから～**
コーディネーター 松本 浩司(NHK解説主幹)
パネリスト 小山内信智(政策研究大学院大学教授)
松島 吉信(富山県文化財アドバイザー)
尾畑 納子(立山砂防女性サロンの会会長)
林 真一郎(富山県土木部参事・砂防課長)
コメンテーター 三上 幸三(国土交通省 砂防部長)
- 17:00 ■閉会

※出演者/プログラム名称等は予告なく変更となる場合があります。

【開催主旨】日本は、地殻変動や火山活動などにより形成された地形の変化と、国土の約7割を占める山地・丘陵地が森林で覆われた自然の風景の美しさを持っており、自然という面からは大変恵まれている国です。しかしその反面、急流河川が多く、地質的に脆弱なため、台風や集中豪雨などの気象条件によって土砂災害が発生しやすい厳しい環境にあります。

特に、近年、気候変動に伴う集中豪雨の増加によって、日本各地で激甚な土砂災害が頻発しており、毎年、人的被害が発生しています。

このため、土砂災害による犠牲者ゼロを目指し土砂災害警戒区域等の指定や避難誘導のための様々な情報発信を行うとともに、「いのち」と「くらし」を守り国土を保全するための砂防事業を推進することが益々重要となっています。

治水分県の歴史を持つ富山県においては、ひとたび自然が猛威を振ると人々の生活が根幹から揺らぐ時期がありました。災害ポテンシャルを砂防技術によってコントロールし続けている流域があります。県内の土砂災害とその対策の歴史を今後の県を支える世代に伝えていくことが県の持続的な発展に欠かせないものであると考え、地域の安全を確保する「砂防」の役割と大切さについて情報発信することにより、今後の土砂災害に対する防災力の向上を目的として開催するものです。



■富山駅から城址大通りを南へ徒歩約15分 ■富山駅から富山地鉄バス「城址公園前」下車徒歩約3分 ■富山駅から市内電車(環状線「国際会議場前」)下車。公共交通機関での来場をお勧めします。

現地研修会はCPD・CPDSの対象外です。

6月2日 金 現地研修会

本年度は以下の3コースを準備中です。詳細は参加登録WEBサイトをご確認いただき申込みいただきますようお願いいたします。

※コース内容は諸事情により変更となる場合があります。

【常願寺川コース】常願寺川の砂防

見どころ 本宮堰堤、立山カルデラ砂防博物館、称名滝など

【黒部川コース】急流河川における砂防と治水事業の取り組み

見どころ 急流河川対策、下新川海岸など

【南砺市コース】富山県における土砂流出対策

見どころ 南砺市利賀村の砂防事業、五箇山など



本宮堰堤



南砺市利賀村の土砂流出対策

【本宮堰堤】常願寺川中流部に施工された、日本最大級の貯砂量を誇る基幹砂防堰堤。平成29年に国の重要文化財に指定。

参加申込要領

- ◎参加をご希望の方は、下記「富山県 Webサイト」からお申し込みください。
6月1日のメインプログラム(開会式典、シンポジウム)のみの参加の場合、当日受付もできますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、入場を制限させて頂く場合がございます。その際は事前申込者を優先とさせていただきます。ご了承ください。
参加者数は800名を予定しています。参加申込み数が上回った場合は受付を締め切らせていただく場合があります。

富山県 Web サイト
<https://www.pref.toyama.jp/index.html>

富山県  で検索下さい。



- ◎現地研修会に参加する場合、下記の費用が必要です。
必ず事前に申込Webサイトからお申し込みください。

6月2日(木)現地研修会 ¥7,000(昼食代 ¥1,000、保険料・消費税込)

- ◎申込Webサイトから宿泊の事前手配も可能です。【5月12日(金)まで】

参加登録締め切り 5月19日(金)

【お問い合わせ先】 第41回土砂災害防止「全国の集い」運営委員会事務局
(富山県土木部砂防課) 電話076-444-3341

※または、「富山県砂防課」で検索してください。